

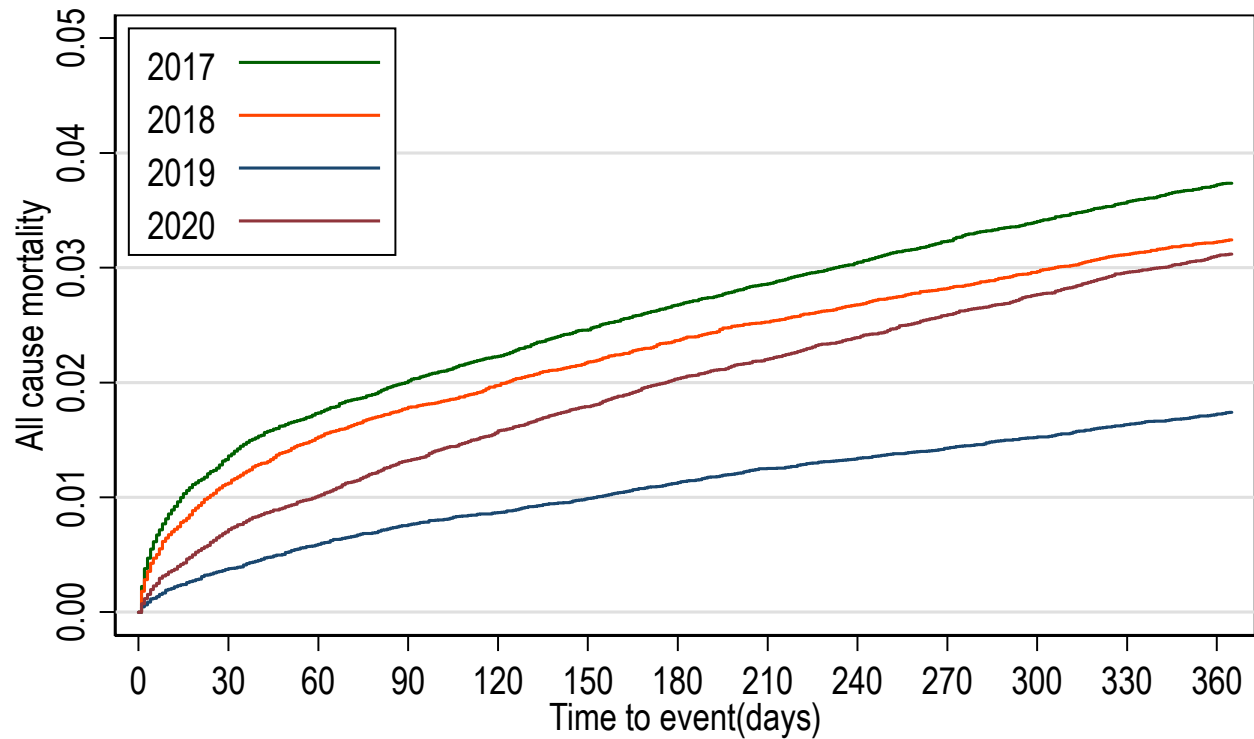
COVID-19に関する
アンケート結果および
長期予後調査について

レジストリー実務小委員会
副委員長 石井秀樹

COVID-19 pandemic禍における 長期予後調査フォローアップレジストリー

- 本来長期予後調査は2017年にAMEDプロジェクトとして採択され、2017, 2018年の患者の1年予後を追跡して終了する予定でしたが、2020年にCOVID-19パンデミックにより、影響がどの程度あったのかを調べるために、協力いただける施設を募り2020年施行症例の1年予後追跡を行いました。

長期予後調査については、Yale大学 澤野 充明先生がメインで解析を
やっていたいただいております。



Number at risk

2017	55298	54190	53817	53507	53237
2018	49721	48839	48545	48320	48118
2019	47331	46973	46799	46653	46514
2020	55878	55141	54742	54431	54144

データ確認時の注意事項(J-PCIの定義変更が2019年にあり)

2018年以前:院内死亡は同一入院期間中にその診療科で担当していた際の30日以内の死亡

2019年以降:院内死亡は同一入院期間中にその診療科で担当していた際の全ての死亡

CVIT ACS発症時のCOVID-19との関連性 について(5類移行に関するアンケート) 調査結果

2023年6月8日(木)～2023年6月12日(月)で実施
第8波:2023年1月(通算11回目)と2023年5月下旬(通算12
回目)の2時期の動向調査

対象施設:CVIT研修施設・研修関連施設

回答施設数:427施設

多くの施設からご協力いただき、感謝申し上げます

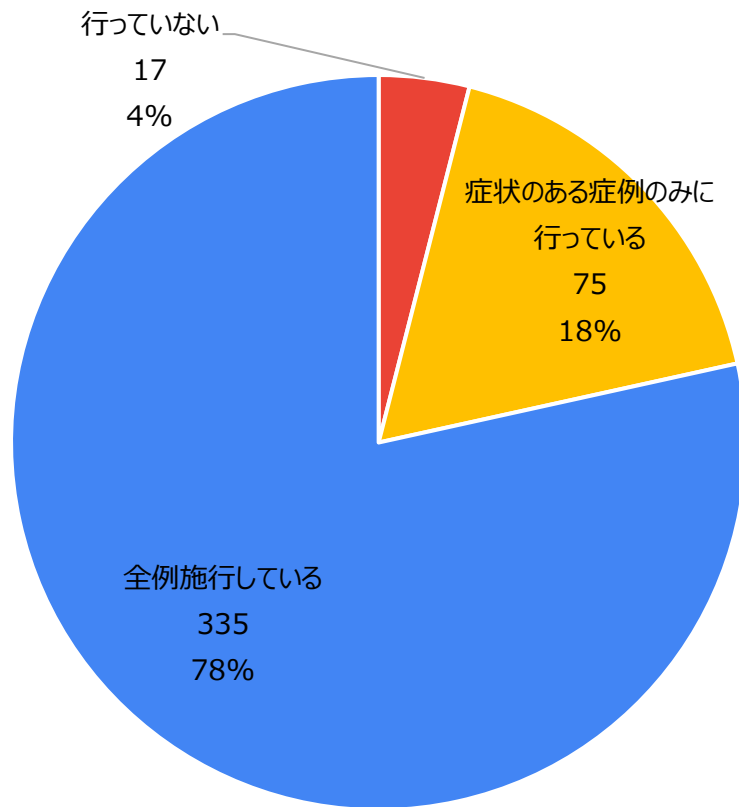
CVIT理事長 上妻 謙・レジストリー委員会委員長 天野哲也

集計:CVIT 事務局・レジストリー実務小委員会

1) COVID-19スクリーニングについて(待機的症例)

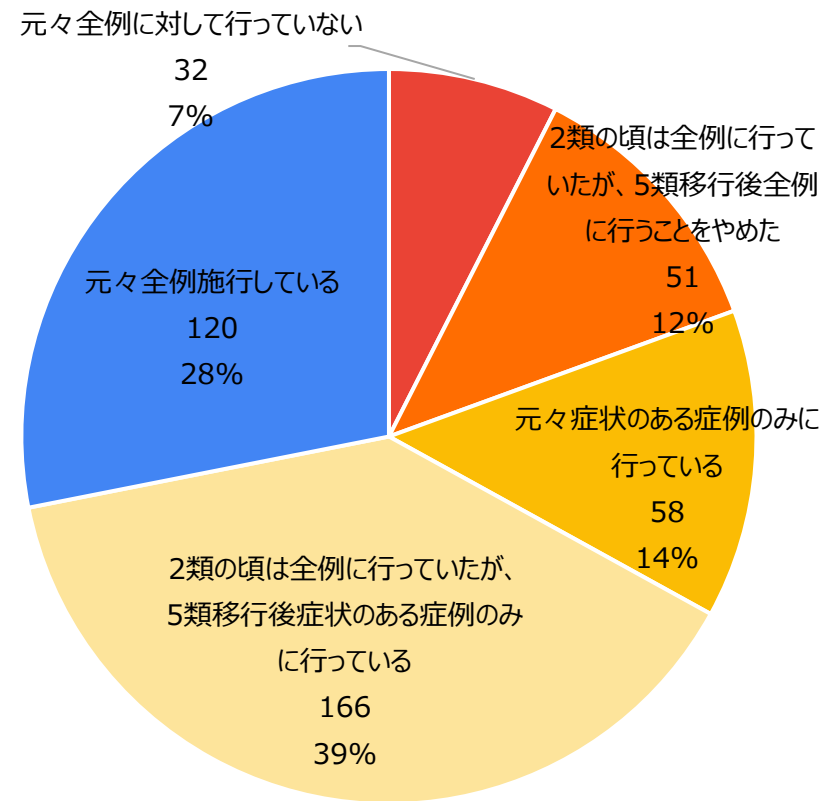
第8波(2023年1月中旬ごろ)時点

(1) 定期カテーテル検査/治療時におけるPCR検査/抗原検査による全例スクリーニングについて



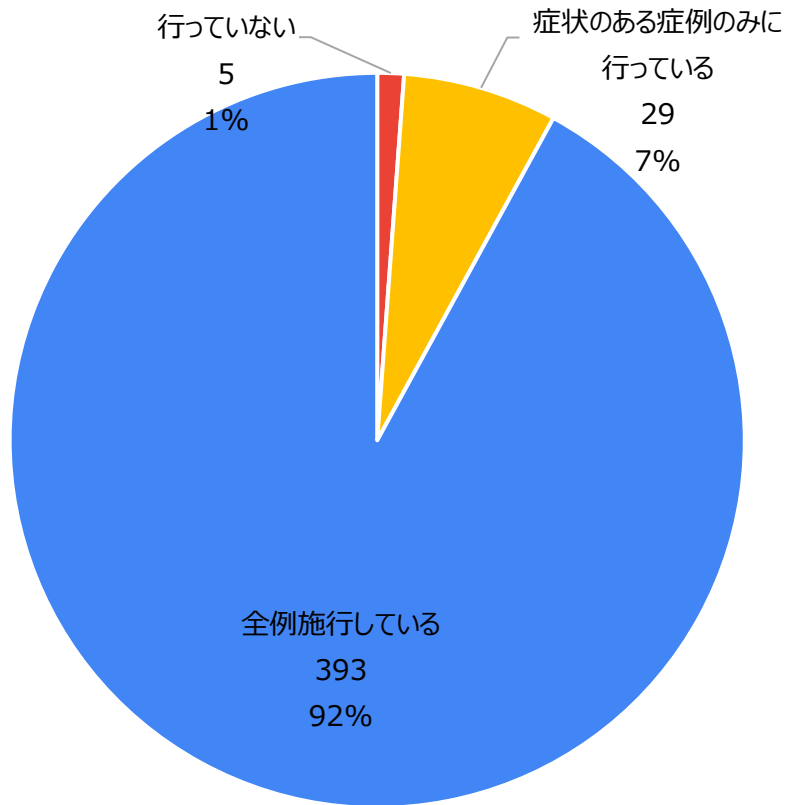
・2023年5月下旬～6月初旬ごろ(COVID-19が5類 になって3～4週間経過後)

(1) 定期カテーテル検査/治療時におけるPCR検査/抗原検査による全例スクリーニングについて

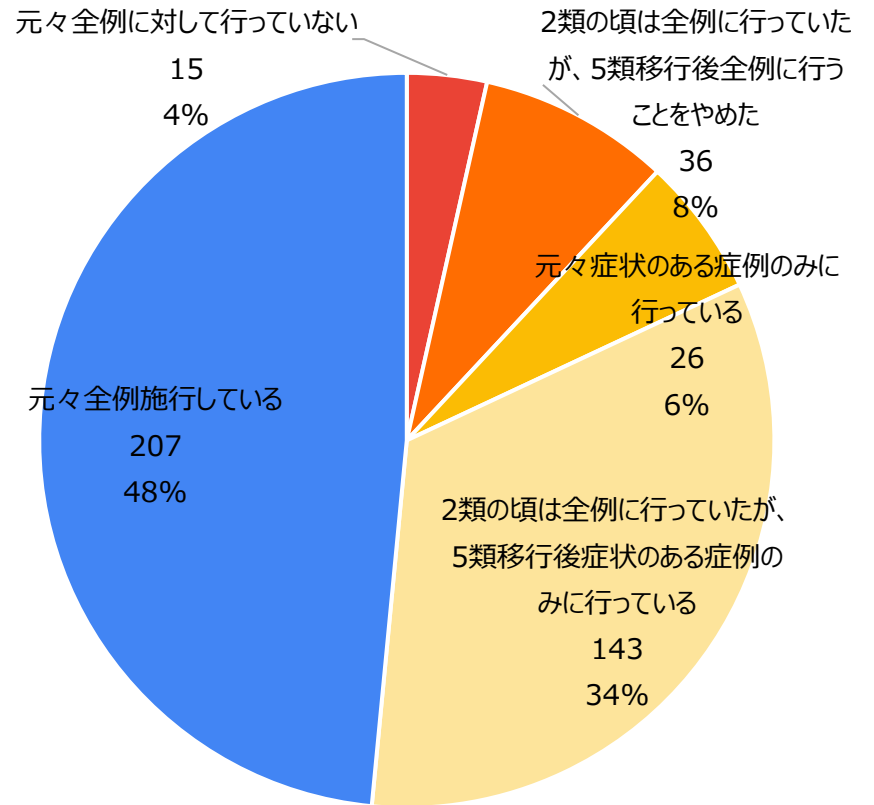


1) COVID-19スクリーニングについて(緊急症例)

・第8波(2023年1月中旬ごろ)時点
(2) 緊急カテーテル検査/治療時におけるPCR検査/抗原検査による全例スクリーニングについて



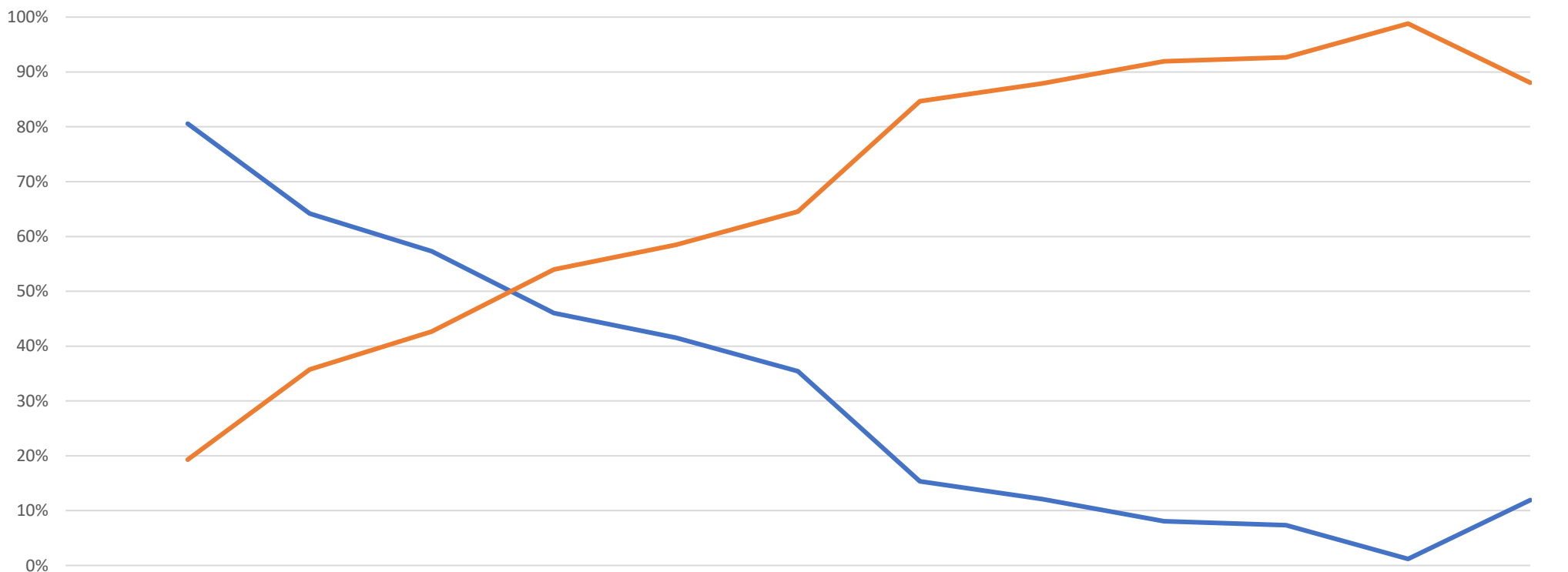
・2023年5月下旬~6月初旬ごろ(COVID-19が5類になって3~4週間経過後)
(2) 緊急カテーテル検査/治療時におけるPCR検査/抗原検査による全例スクリーニングについて



ACS患者のscreeningについて (2022年まではSTEMIのscreeningとして質問していました)

— 身体所見のみ — screening施行

P < 0.00001 (Pearson χ^2 検定)



← 第1波 → ← 第2波 → 第3波 第4波 第5波 第6波 第8波 5類移行

2020年

2021年

2022年

2023年

4月中旬

4月下旬

5月中旬

8月中旬

12月中旬

2月中旬

5月上旬

9月上旬

1月下旬

4月上旬

1月中旬

5月下旬

screeningあり

19.3%

35.8%

42.7%

54.0%

58.5%

64.6%

84.7%

87.9%

91.9%

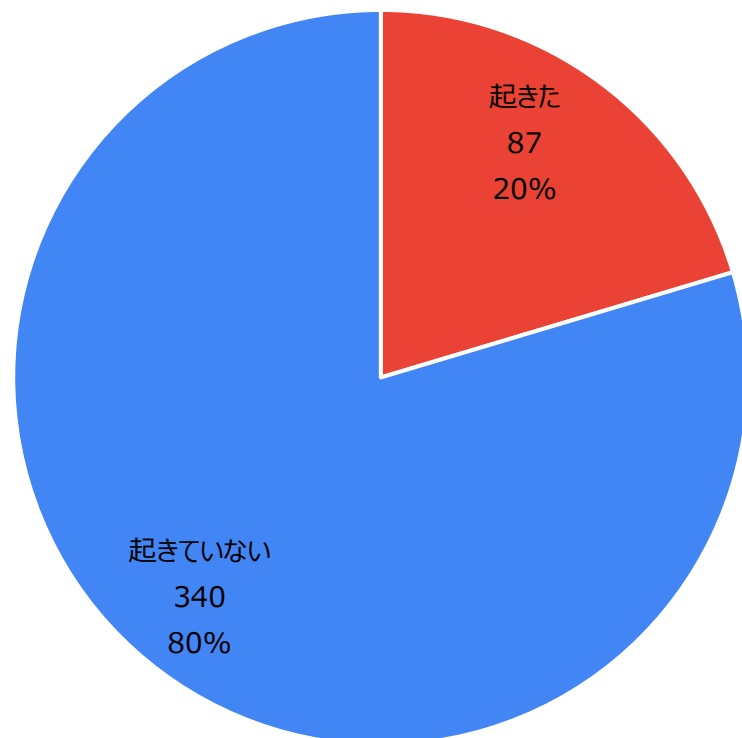
92.7%

98.8%

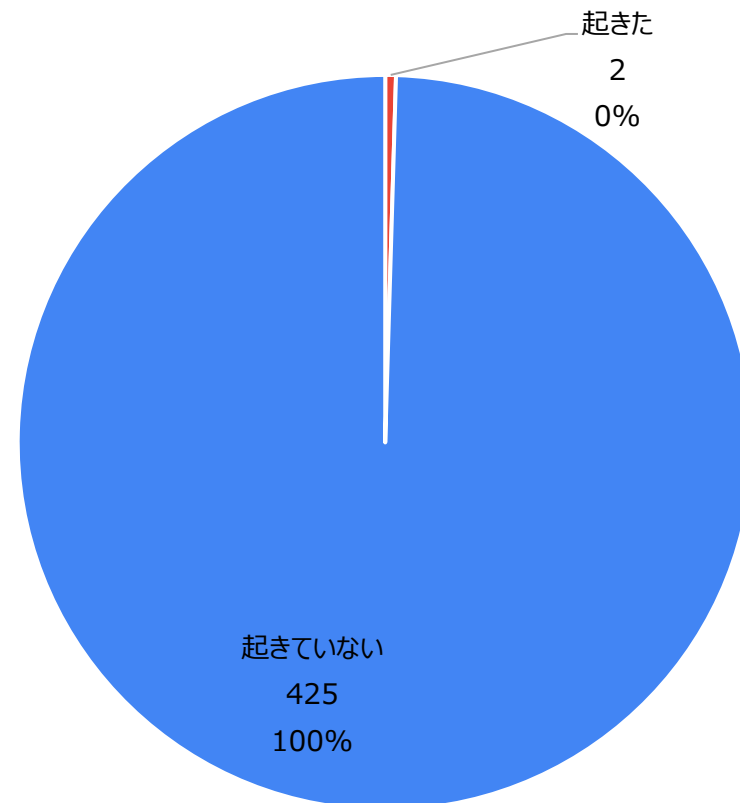
88.1%

3) COVID-19院内感染について

(1) 5類移行後、貴施設内でクラスター(5名以上の院内感染)は起きているか



(2) 5類移行後、カテーテル検査/治療が関連したと思われる感染は起きているか



【結果はCVIT会員サイトに掲載しております】

CVIT 2022年CVIT学術集会(CVIT2022横浜)時におけるCOVID-19の感染状況についてのアンケート

2023年6月8日(木)～2023年6月15日(木)

調査対象:CVIT全会員(12,659名+賛助会員20社)

うち回答数:1,688(賛助会員5社)名

多くの会員の皆様からご協力いただき、感謝申し上げます

CVIT理事長 上妻 謙 ・COVID-19対策小委員会 委員長 山田慎一郎
(集計:CVIT 事務局)

謝辞

いつもご多忙の中、J-PCI登録やアンケートに対してご協力賜り、感謝申し上げます。

本日お示ししました結果等につきましては、CVIT理事会および関連委員会等のみならず、日本循環器学会や、各種官庁や保険委員会においても情報共有し、循環器疾患を中心とした救急も含めた医療体制に関して、発展的議論を進めていく所存です。